

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 1日	母体 切迫早産 (なし)	(経胎盤) 73 ~180µg/ min 40日間	<b>心拡大, 心機能障害</b>	
				【母体経過】	
				投与開始日 (妊娠30週6日)	本剤投与開始。
				投与4~39日目	肝障害, 高カリウム血症, 白血球増加, 高血糖にて入院。 その後, 嘔吐, 腹痛あり。 門脈・上腸間膜静脈血栓症, 小腸壊死発現。
				投与40日目 (妊娠36週3日)	転院。CTにて上記診断により緊急手術。本剤投与中止。
				投与4~39日目	ダルテパリンナトリウム投与開始。
				【新生児経過】	
				出生時所見	女児, 体重2980g, 身長49.4cm Apgar score 1分後8点, 5分後9点
				生後1日目	出生後2時間の心エコーにて心拡大 (LVIDd: 1.81cm), 心機能障害 (EF: 52.6%), 僧帽弁逆流症中等度あり。酸素経鼻投与開始。
				生後2日目	経皮的極細中心静脈カテーテル留置。低カルシウム血症に 対しグルコン酸カルシウム水和物注射液持続投与開始。
				生後4日目	EF: 65.8%。酸素投与終了。
				生後7日目	グルコン酸カルシウム水和物注射液投与終了。
				生後9日目	低カルシウム血症回復。
				生後12日目	僧帽弁逆流症消失。
生後15日目 (終了14日後)	心拡大, 心機能障害回復。				

#### 臨床検査値

		生後 1日目 (投与終了日)	生後 2日目	生後 3日目	生後 4日目	生後 5日目	生後 7日目	生後 9日目	生後 12日目	生後 15日目
Ca (mg/dL)	1回目	—	6.6	7.1	8.9	9.6	—	9.7	10.3	—
	2回目	—	—	8.1	—	—	—	—	—	—
Mg (mg/dL)		—	1.9	2.1	2.3	—	—	2.3	2	—
P (mg/dL)		—	5.3	5.4	6.2	—	—	6.7	7	—
NT-proBNP (pg/mL)		—	52244	—	10259	—	—	2696	1397	—
PTH-INT (pg/mL)		—	—	44	—	—	—	—	—	—
dBP (mmHg)		36	29	37	47	—	41	34	22	32
sBP (mmHg)		64	62	61	65	—	67	63	60	61
HR (/min)		137	125	114	115	—	142	135	139	138

併用薬 (母体) : ビフィズス菌製剤, ウリナスタチン, メトロニダゾール, 酸化マグネシウム, 酢酸リンゲル液 (ブドウ糖加), アンピシリンナトリウム